

## 平成 30 年度事業の実績について

### 1 農地中間管理等事業

#### (1) 農地中間管理事業

農地の転貸面積は 1,088ha で、ほぼ前年度並み (1,040ha) となり、目標 2,000ha に対しては 54%の実績となった。

中間保有農地の管理、耕作放棄地の再生利用の実績はなかった。

農業委員会が実施した遊休農地の利用意向調査の結果、機構への貸付意向があった 5 市町村 14ha の農地について、「機構の借入基準への適合性に関する判定会」を開き、基準に適合した 4ha の農地について、貸付候補リストに登載しマッチングを進めた。

基盤整備との連携については、県営基盤整備事業実施地区のうち 47 地区 (新規 : 7 地区) を重点実施区域に指定し、基盤整備と一体となった農地集積に取り組み、169ha で農地中間管理機構の利用が行われた。

農地耕作条件改善事業については、55 地区 (新規 : 4 地区) を重点実施区域に指定し、暗渠排水施設等の整備と併せて、48ha で農地中間管理機構の利用が行われた。

その他、平成 30 年度活動方針に基づき、機構 (農地バンク) の認知度向上を図るため、身近な市町村広報誌やラジオなどによる広報を継続するとともに、新たに J A 祭や物産館等で広報キャラバンや農地中間管理事業を題材とした肥後にわか公演等、農家と直接対面する広報活動を展開した。

(単位:件, ha)

区 分		H30年度計画		H30年度実績		増 減		備 考
		件数	面積	件数	面積	件数	面積	
1 農地の貸借	借入	4,000	2,000	2,169	997	△1,831	△1,003	新規契約 900ha 契約更新 1,100ha
	転貸	2,000	2,000	1,020	1,088	△980	△912	
2 中間保有農地の管理		-	35	-	-	-	△35	既借入面積3,500haの 1%
3 耕作放棄地の再生利用		-	250	-	-	-	△250	復旧可能な耕作放棄 地面積5,000haの5%
4 基盤整備との連携(県営)		40	200	18	169	△22	△31	事業実施地区数と地区 内での機構集積面積
" (簡易)		55	110	12	48	△43	△62	

## (2) 農地集積加速化事業

平成30年度に新たに指定された集積促進地区20地区を含めた88地区において地域の話合いによる農地集積・集約化に取り組んだ。この結果、中間管理事業により442haの農地が集積され、新たに農地集積の受け皿となる10法人(うち1法人は重点地区)が設立された。また、事業期間を過ぎた重点地区においても継続して農地集積支援を行っており、全体の152地区では中間管理事業により488haの農地が集積された。

区 分	H30 年度計画	H30 年度実績	増減	備考
農地集積専門員 (人)	14	14	0	
重点地区数	24	24	0	
集積促進地区数	56	56	0	
樹園地地区数	8	8	0	
新規集積面積 (ha)	400	※ 442	—	

※新規集積面積は把握できないため、重点地区及び集積促進地区における集積面積を計上

## (3) 農地中間管理機構の特例事業 (農地売買等事業)

### ア 農地売買等事業

農地の売買面積については、買入が172ha(計画比138%)、売渡144ha(計画比137%)となり、計画を大きく上回った。

地域別にみると、球磨地域、八代地域、阿蘇地域、熊本市、玉名地域における買入面積が、全体の8割以上を占めた。

球磨地域では、葉タバコ・畜産農家の農地取得が過半を占め、隣接地の取得が多く、八代地域ではトマト農家、阿蘇地域では畜産農家、熊本市においては園芸及び果樹農家による農地取得が多かった。

また、地域農業の中核となる農地所有適格法人への売渡が増えてきており、当年度においては50件の実績となった。

さらに、買入契約では、法定代理人(成年後見人等)との契約が5件あり、今後増加するものと考えられる。

イ 農作業受託促進事業

農作業受託促進事業（融資事業）については、740 万円（計画比 19%）であった。。

区 分	H30 年度計画	H30 年度実績	計画比 (%)
農地売買等事業	買入 265 件	買入 455 件	172
	125 ha	172 ha	138
	1,225 百万円	1,274 百万円	104
	売渡 229 件	売渡 291 件	127
	105 ha	144 ha	137
	1,072 百万円	1,092 百万円	102
農作業受託促進事業	8 件	2 件	25
	20 ha	5 ha	25
	4,000 万円	740 万円	19

## 2 畜産公共事業

畜産経営に起因する環境汚染の防止と畜産経営の合理化を図るため、平成29年度からの繰越及び平成30年度の畜産環境総合整備事業（熊本市東部地区）を実施した。

また、熊本市より畜産環境総合整備関連事業（市単独事業）の業務委託を受け、同一敷地内において補助事業と市単独事業による施設整備を併せて実施した。

### （1）概要

（単位：千円）

事業名	地区名	関係市町村	事業実施期間	総事業費	H30年度事業費
畜産環境総合整備事業 （畜産公共事業）	熊本市東部	熊本市	平成29年度～30年度	441,360	420,680
畜産環境総合整備関連事業 （他団体からの委託事業）	熊本市東部	熊本市	平成29年度～30年度	949,876	841,324

注）畜産環境総合整備関連事業についてはP11 他団体からの委託事業(2)を参照

### （2）実績

（単位：千円）

区分	H30年度計画		H30年度実績		増減	
	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費
利用施設整備	家畜排せつ物処理施設 （堆肥製造棟）	1棟	353,500	1棟	364,144	10,644
	家畜排せつ物処理施設 （堆肥発酵攪拌機）	1式	30,500	1式	27,324	△3,176
	家畜排せつ物処理施設 （トラックスケール）	1式	3,500	1式	0	△3,500
	運搬作業機	1台	12,500	1台	8,532	△3,968
	計 ①		400,000		400,000	
	測量試験費 ②					
	工事雑費 ③		4,000		4,000	
	一般管理費 ④		14,280		14,280	
	事業費計⑤=①+②+③+④		418,280		418,280	
	附帯事務費 ⑥		2,400		2,400	
	合計 ⑧=⑤+⑥+⑦		420,680		420,680	

### 3 新規就農支援事業

新規就農支援センターは、「農業経営基盤強化促進法」及び「農業基盤の強化の促進に関する基本方針(熊本県)」に基づく「青年農業者等育成センター」として知事から認定を受け、就農促進の拠点として、熊本県農業会議とともに就農希望者への就農相談等に取り組んだ。

#### (1) 新規就農支援センター機能強化事業

公社に就農相談員を3名、各地域に就農支援アドバイザーを11名配置し、就農希望者の相談に応じるとともに、センター主催等による就農・就業相談会を県内で4回開催した。また、「新・農業人フェア」を始め県外の相談会に9回出展し、就農支援活動を行うとともに、ハローワーク熊本での出張相談も開始した。

この結果、就農相談件数は610件(前年比103%)となった。なお、相談者の就農支援に繋げて行くために、フォローアップ調査を35回行った。

就農支援資金については、既融資分の管理回収を行った。

#### (2) 新規就農支援助成事業

農業後継者育成基金の運用益を活用、青年農業者や学校農業クラブ、NPO法人等31件の活動を支援し、新規就農者の確保・育成に取り組んだ。

区 分	H30 年度計画	H30 年度実績
①新規就農支援 センター機能 強化事業	(ア)就農相談活動	
	㊦相談件数 600件	610件
	㊧就農相談員の設置 3名	3名
	㊨就農相談会の開催	
	・熊本県内 3回	(熊本市、農大) 4回
	・県外(東京、大阪等) 10回	(東京、大阪、福岡) 9回 (ハローワーク出張相談) 18回
	㊩無料職業紹介 15件	6件
	㊪情報の収集・提供	
	・関係機関情報交換会 2回	4回
	・ウェブサイト更新 随時	更新回数 96回
・教育機関への情報提供 随時	2回	
㊫親元就農Uターン者相談 随時	4回	

区 分	H30 年度計画	H30 年度実績
①新規就農支援 センター機能 強化事業	(イ)新規就農者育成支援活動 ア地域就農支援アドバイザーの設置 11名 ①就農後のフォロー 40回 ②認定研修機関等との連携 ・県就農支援機関協議会 随時 ・県立農業大学校等 随時 ③現地研修会(ハスツア-)の開催 2回	11名 35回 10回 打合せ会議 4回 集合研修 1回 研修生指導等 5回 東海大学等5校へ説明 2回 2回
②新規就農支援 助成事業 ※基金運用益 を活用	(ア)県青年農業者クラブ連絡協議会 活動助成事業 1組織 (イ)青年農業者海外派遣研修等支援 事業 2件 (ウ)学校農業クラブ等地域課題解決 活動助成事業 5校 (エ)研修機関等活動支援事業 NPO法人等 4団体 (オ)ジュニア農業体験研修事業 1校 (カ)地域新規就農者支援組織等活動 助成事業 6組織 (キ)地方青年農業者クラブ課題解決 活動支援事業 11地方クラブ	1組織 2件 7校 4団体 2校 4組織 11地方クラブ

#### 4 熊本県農業公園管理運営等事業

熊本県農業公園指定管理（4期目）の2年度となる平成30年度においては、農業公園の理念である県民への農業理解の促進と憩いの場の提供、農業情報の発信を行うため、「春のバラまつり」、夏季の「水遊び広場」、「秋のバラまつり」、新年の「新春たこあげ大会」などの自主イベントを実施したほか、大型野外コンサート「SEKAI NO OWARI 野外ツアー2018」、恒例となっているJA植木まつりや農業フェア、こうし市民まつり、サッカー大会やクロスカントリー大会等の芝生広場を活用したイベントを積極的に誘致した。

農業や食への理解を促進するためのカントリーパーク「食農塾」では、幼稚園・保育園を対象とした甘藷、落花生、じゃがいも、スイートコーン、大根の収穫等の体験農園を実施するとともに、食育については親子グループ等を対象とした石窯ピザづくり等体験、「くまもとふるさと食の名人」等による料理教室を実施した。

体験農園については、112団体で7,529人（計画比94%）の参加があった。食の体験では、石窯ピザづくり等体験に65団体2,888人、食の名人等による料理教室に2回30人で合計2,918人（計画比122%）の参加があった。

また、公社と連携協定を締結している㈱アスリートクラブ熊本と12月にきずなCUP ロアッソ熊本サッカー大会を実施し、また同じく協定を締結している合志市とは10月の「こうし市民まつり」、1月の「合志市民健康カントリーマラソン大会」を実施した。

この結果、平成30年度の総入園者数は約51万人（計画比102%）、有料入園者数約11万6千人（計画比132%）、無料入園者数約39万4千人（計画比96%）の実績となった。

このほか、県民参加の公園づくりを進める観点から農業公園サポーター55名の登録を行い、バラ園管理などに参加をいただいた。

##### (1) 入園者実績

（単位：人数、%）

入園者	H30年度計画	H30年度実績	計画比
総入園者	500,000	510,496	102
有料入園者	88,000	116,160	132
無料入園者	412,000	394,336	96

##### (2) 体験農園実績

（単位：延人数、%）

作物	体験内容	H30年度計画	H30年度実績	計画比
体験農園		8,000(110団体)	7,529(112団体)	94
落花生	植付、生育観察、収穫	-	572(9団体)	-
甘藷	植付、生育観察、収穫	-	4,750(69団体)	-
じゃがいも	収穫	-	493(5団体)	-
スイートコーン	収穫	-	474(11団体)	-
大根	収穫	-	1,240(18団体)	-

## (3) 食の体験実績

(単位：延人数、%)

項目	H30 年度計画	H30 年度実績	計画比
食の体験	2,400 (45 団体)	2,918 (65 団体)	122
石窯ピザづくり等体験	-	2,888 (65 団体)	-
食の名人等料理教室	-	30 (2 回)	-

## (4) 主なイベントの開催実績

## ① 自主イベント

イベント名	開催日
第 27 回春のバラまつり	5 月 11 日～28 日
フラワーアレンジ教室	6 月 18 日
夏休み自由研究応援企画	7 月 8 日
水遊び広場プレオープン	7 月 7 日～8 日
水遊び広場	7 月 14 日～9 月 2 日
秋野菜園芸講習会	8 月 19 日
コンテナガーデン教室	10 月 7 日
第 25 回秋のバラまつり	10 月 15 日～26 日
門松づくり教室	12 月 23 日
新春たこあげ大会	1 月 6 日
接ぎ木教室	2 月 3 日
春野菜園芸講習会	3 月 23 日
体験農園 (落花生、甘藷、じゃがいも等)	4 月 1 日～3 月 31 日
石窯ピザづくり等体験	4 月 1 日～3 月 31 日
食の名人等料理教室	11 月 8 日・3 月 20 日

## ② 共催イベント

イベント名	開催日
春の物産館うまかもんフェア	5 月 12・13・19・20 日
秋の物産館うまかもんフェア	10 月 20・21 日
きずな CUP ロアッソ熊本サッカー大会	12 月 8 日

## ③ 誘致イベント

イベント名	開催日
SEKAINO OWARI 野外ツア- 2018	4 月 7 日
子育てサポーターズサッカー大会	4 月 14 日～15 日
エビネ花展示会・山野草展	4 月 21 日～22 日
合志市カントリーパークレマソン大会	4 月 22 日
九州蚤の市	4 月 28 日～29 日
青空フェス	4 月 29 日
ボトルフラワー展示会	5 月 11 日～15 日
第 19 回ハッピーマルシェ 第 7 回唐揚げ選手権	5 月 12 日～13 日



さつき盆栽展示会	5月19日～27日
やきとりフェスティバル	5月19日～20日
手作り&雑貨フェア	5月19日～20日
KKT ちびっこガーデンサッカー	6月9日
KKT タグラグビーフェスタ	7月7日
寒蘭新芽展示会	7月8日
寒蘭出芽展示会	7月21日
手作り&雑貨フェア	8月4日～5日
朝日ドキドキサイエンスショー	8月25日
第1回たこ焼きグランプリ 第20回ハッピーマルシェ	9月22日～23日
動物愛護まつり	9月23日
第二幼稚園運動会	9月23日
東京エレクトロン Thanks Day 2018	9月29日
城北幼稚園運動会	10月6日
くぬぎの丘マルシェ	10月6日～8日
ソフトクリームグランプリ	10月13日～14日
こうし市民まつり	10月14日
ボトルフラワー展示会	10月18日～25日
手作り&雑貨フェア 九州蚤の市	10月20日～21日
第20回歩いて学ぶ糖尿病ウォークリ-熊本	10月21日
赤い羽根カップ TKU ジュニアサッカー大会	10月27日～28日
県民共済カップ TKU キッズサッカー大会	11月3日
農業フェア ゆうきフェスタ 寒蘭花展示会	11月10日～11日
ニクメンフェスタ秋の陣 第21回ハッピーマルシェ 寒蘭花展示・販売会	11月17日～18日
ヨガ教室	11月23日
寒蘭花展示会	11月24日～25日
手作り&雑貨フェア	12月8日～9日
熊本 YMCA チャリティーラン	12月9日
平成30年度二校合同駅伝大会	12月14日
ヨガ教室	12月23日
熊本陸上競技協会・クロスカントリー大会 熊本県高等学校クロスカントリー大会	1月5日
ヨガ教室	1月7日・13日・28日
合志市民健康カントリーマラソン大会	1月12日
第44回 JA 植木まつり	1月19日～2月18日
肥後骨董市	1月19日・20日・26日・27日
皐月盆栽新春展	1月19日～27日
盆栽展示会	2月1日～4日
肥後骨董市	2月2・3・9・10・11・16・17日
早春の九州名草展	2月15日～17日
ヨガ教室	2月24日
鶴屋カップ TKU ジュニアサッカー大会	3月2日・3日・9日

第 15 回無人ヘリコプター安全飛行競技大会	3 月 5 日
TKU 春のキッズサッカー大会	3 月 10 日
第 32 回熊本県中古農業機械展示会	3 月 14 日
ヨガ教室	3 月 21 日
第 22 回ハッピーマルシェ 第 2 回 KUMAMOTO カレー王座決定戦	3 月 23 日～24 日
スーパー竹とんぼ講習会	毎月第 1 日曜日

## 5 他団体からの委託事業

### (1) 家畜人工授精用精液の取引仲介業務委託

家畜改良事業団が取り扱う家畜の精液について、家畜改良事業団と県下の農業団体との間で行われる売買の仲介業務を実施した。

(単位：本、千円、%)

項目	H30 年度計画	H30 年度実績	計画比
取扱本数	1,200	2,206	184
委託料	300	638	213

### (2) 畜産環境総合整備関連事業委託業務

平成 29 年度より畜産環境総合整備事業と併せて実施している熊本市からの委託業務において、平成 29 年度からの繰越及び平成 30 年度の施設整備を実施した。

#### ① 実績

(単位：千円)

区分	H30 年度計画		H30 年度実績		増減	
	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費
家畜排せつ物処理施設 (堆肥製造棟)	1 式	87,845	1 式	85,293		△2,552
家畜排せつ物処理施設 (堆肥保管棟)	1 棟	292,953	1 棟	289,995		△2,958
水分調整資材収集施設 (副資材保管棟)	1 棟	201,298	1 棟	219,460		18,162
管理事務所	1 棟	55,548	1 棟	68,199		12,651
車庫	1 棟	21,464	1 棟	20,464		△1,000
外構施設	1 式	75,764	1 式	82,619		6,855
運搬車両等	9 台	94,952	11 台	58,266	2 台	△36,686
さく井	1 式	6,500	1 式	6,588		88
計 ①		836,324		830,884		△5,440
測量試験費 ②						
工事雑費 ③		5,000		9,636		4,636
一般管理費 ④		0		42		42
事業費計⑤=①+②+③+④		841,324		840,562		△762
付帯事務費 ⑥		0				
建設利息 ⑦		0		749		749
合計 ⑧=⑤+⑥+⑦		841,324		841,311		△13

## 6 管理部門

公社業務の円滑な運営のため、役員会 5 回（会議開催 3 回、決議省略 2 回）、評議員会 2 回（定時 1 回、決議省略 1 回）を開催するとともに庶務経理等の業務を執行した。

### （1）理事会

決議の省略の方法による理事会（平成 30 年 5 月 10 日）

第 1 号議案 決議の省略の方法による評議員会の開催について

第 2 号議案 評議員会の決議事項について

第 3 号議案 評議員候補者の推薦について

※上記議案について理事 7 名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

第 24 回 理事会（平成 30 年 6 月 11 日）

第 1 号議案 平成 29 年度事業報告及び事業報告の附属明細書の承認について

第 2 号議案 平成 29 年度貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書並びに財産目録の承認について

第 3 号議案 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について  
報告事項 農地中間管理事業評価委員会において出された意見について

※上記議案について原案のとおり承認された。

出席理事数 8 名、出席監事数 1 名

決議の省略の方法による理事会（平成 30 年 8 月 10 日）

第 1 号議案 評議員候補者の推薦

※上記議案について理事 9 名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

第 25 回 理事会（平成 30 年 10 月 31 日）

報告事項 平成 30 年度上半期における理事長の職務執行状況報告について

平成 30 年度事業の中間報告について

財務の状況について

※上記報告事項について報告された。

出席理事数 8 名、出席監事数 3 名

第 26 回 理事会（平成 31 年 3 月 18 日）

- 第1号議案 平成30年度収支予算書の変更について  
第2号議案 平成31年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みについて  
第3号議案 諸規程の一部改正について  
報告事項 平成30年度下半期における理事長の職務執行状況報告について  
平成30年度事業の実績見込みについて  
※上記議案について原案のとおり承認された。  
出席理事数6名、出席監事数2名

(2) 評議員会

決議の省略の方法による評議員会 (平成30年5月22日)

- 第1号議案 理事の選任について  
※上記議案について評議員5名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

第8回 評議員会 (平成30年6月26日)

- 第1号議案 平成29年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認について  
第2号議案 役員の選任について  
報告事項 平成29年度事業報告について  
※上記議案について原案のとおり承認された。  
出席評議員数7名

(3) 監査 (平成30年6月6日)

平成29年度財務状況並びに業務執行状況について、公社監事(松本和久・小柳倫太郎)による監査が実施された。